

- ① 伊方原発の再稼働を認めないでください。
- ② 住民の声を聴き、原発問題の本質を深める「公開討論会」を開催してください。

四国電力の伊方原発3号機について、原子力規制委員会は新規制基準に適合との方向で手続きをすすめています。しかし、「平均」をもとに策定した基準地震動 650 ガルは過小です。データのバラツキからは、その7倍以上にすべきところです。国内で実際に記録された地震動 4,022 ガルに比べても明らかに過小評価です。

事故の際、伊方原発の狭い敷地では、汚染水を蓄え処理することができません。瀬戸内海を死の海にしてしまう恐れが濃厚です。事故対策のための要員や物資の搬入さえ困難です。

現実離れした避難計画も問題です。原発から西の佐田岬半島に住む住民約 5,000 人をはじめ、住民が確実に避難し被ばくから免れるという保証はありません。

伊方原発3号機では、ウランよりさらに危険なMOX燃料での再稼働がねらわれています。使用済み核燃料の処理も未解決です。住民の多くが再稼働に否定的であり、大多数が原発に不安を感じています。

伊方原発の再稼働を認めないでください。また、住民の声を聴き、原発問題の本質を深める「公開討論会」を開催してください。

氏 名	住 所

第1次締切り 2015年9月末。呼びかけ団体「伊方原発をとめる会」に届けてください。FAXでは送信しないでください。

【呼びかけ団体】

【取扱団体】



**伊方原発をとめる会**

790-0003 松山市三番町 5-2-3 ハヤシビル 3F

電話 089-948-9990 FAX 089-948-9991

HP <http://ikata-tomeru.jp>

mail [ikata-tomeru@nifty.com](mailto:ikata-tomeru@nifty.com)